

利賀っ子だより



R4. 5. 23

○ 「ロンレー子ども村」開村！

今年度も「ロンレー子ども村」の開村式を行いました。

「ロンレー子ども村」は、昭和53年度に「地域の自然や文化に触れさせる体験的な活動」というねらいで当時の教職員、保護者、児童で測量から行い、手作りで完成させたという記録が残っています。それ以来、場所に変更になったものの、そのねらいは変わることなく、脈々と受け継がれています。「保護者として作業に加わった」「子供の頃、『ロンレー子ども村』に行くことを楽しみにしていた」などと思い出話をされる地元の方もたくさんおられ、利賀地域の大切な場所となっています。

大人になった時に懐かしく思い出す場所がたくさんあることは、自分を幸せに感じ、ストレスが解消されて、脳が元気になりやすいと聞いたことがあります。大勢の方々のご尽力によってできた「ロンレー子ども村」で今年もたくさんの思い出を作っていきたいと思います。



【児童代表挨拶】



【クラフト活動】

開村式の朝、心配そうに「校長先生、今日、ロンレー行きますか？」とTさん。前日の雷雨で森の中がぬかるんでいて開村式が延期になることを心配しているのかなと思い、「雨が降ったから？」と聞くと、「だって、全員いないから。」という答え。都合で朝の登校バスに乗らなかったクラスの友達が開村式に参加できないのではないかとこのことを思いやりの質問だということが分かりました。子供同士も一人一人を大切に思っていることを感じ、嬉しい気持ちになりました。少し遅れてきたクラスの友達の姿を見て、「よかった。」とにっこりしたTさんでした。

今年度、姉妹都市の武蔵野市から『ふるさととは美しく』モデル事業として、「ロンレー子ども村」に助成金をいただくことになり、改修工事が予定されています。次回は、リニューアルした「ロンレー子ども村」で活動できそうです。

(高田 公美)